

2009年度 早稲田大学 文学部

日本史 解答例

I 世界文化遺産 <易>

問1イ 問2原爆ドーム 問3ア・オ 問4エ 問5エ 問6ア 問7ウ

問2は過去問や問題集では問われた経験はないだろうが、教科書や問題集による学習ではなく、普段の生活の中で目にする新聞やテレビに出てくる歴史にも耳を傾けておくと、容易に解けたらう。

II 8世紀初めの女帝時代 <やや易>

問1イ 問2A銀B銅 問3ウ 問4イ 問5エ 問6エ 問7万葉集 問8ウ

早稲田では史料のほんの一部のフレーズだけを判別させる問題がよく出題される。いくら史料問題集で練習していても、冒頭部分だけで判別するクセが付いていると、こうした問題には太刀打ちできない。問5はまだ簡単な問題だったが、史料の有名フレーズに慣れておく必要がある。

III 中世の経済 <やや易>

問1福岡 問2問丸(問) 問3エ 問4エ 問5ア 問6イ 問7ア

織田信長が発した安土の楽市令は、単なる楽市・楽座を命じたものではない。その内容は多岐にわたり、それらを理解していないと解けない問題は意外と出題されている。備えていた人もいるだろうが、それでも問7は判別に苦しむ問題であった。

IV 文治政治 <やや易>

問1ウ・エ 問2文治 問3イ 問4ウ 問5殉死 問6オ 問7証人

問3は厳密に時期を考えて解く必要があった。3代将軍徳川家光が1651年4月に死去し、4代将軍徳川家綱は8月に将軍宣下を受けた。由井正雪の乱がおこったのはその合間の7月のことだった。

V 近現代の民衆 <やや難>

問1二分五厘 問2エ 問3オ 問4原敬 問5ウ

問6ア 問7小林多喜二 問8ウ 問9公害対策基本法 問10イ

本学部の問題のうちもっとも難しい問題であった。問3・5・10などは、消去法で選択肢を絞り込みつつ解答するしかなかっただろう。正解そのものを覚えることよりも、ダミーの選択肢を見破る能力を持っていたかどうかが重要である。

VI 古代～近世の美術 <易>

問1(1)ア (2)オ (3)イ (4)ウ

問2 E鑑真 F唐招提寺 G十便十宜

文学部定番の美術史からの出題である。ただし例年とは違い図版を使った出題はなかった。問題自体はどれも簡単なものばかりであるが、意外と漢字ミスで失点した人がいるだろう。

講評

受験日本史の知識というよりは、常識を問う問題があちこちに見られた。ある意味早稲田の中ではもっとも問題が易しい学部である。受験科目に日本史を課すようになってからまだ数年しか経っていないことも関係しているのだろう。